

# 竜の子 奨学生

TATSUNOKO NEWSLETTER

その夢は、きっと世界を変えていく。  
*The dream surely changes the world.*



## Contents

- P.2 「現在の夢」、お礼の言葉
- P.3 第44回交流会レポート



XEX日本橋にて贈呈式・卒業式・OBOG会開催

- P.11 令和五年度新入生紹介
- P.14 竜の子近況報告
- P.18 竜の子(OG・OB)近況報告
- P.19 SPECIAL REPORT
- P.20 編集後記



作画：魏 登輝（平成23年竜の子奨学生）

第31号  
Aug. 2023

## 現在の夢



リュウ ゲンペイ  
劉 彦平

'06~'08  
一橋大学国際公共政策大学  
院公共経済  
'07~'08  
竜の子財団 一期生  
'08~現在  
富士フィルムビジネスイノ  
ベーション 中央調達部  
家族構成：4人。会社同期の  
主人、中学1年+小学2年の息  
子2人

みなさん、お久しぶりです。竜の子1期生の劉です。

【現在の夢】の寄稿について、加藤さんからお声掛けいただいた時は、嬉しい一方で、正直ちょっと戸惑いました。

40歳を過ぎて、子供が2人いるキャリアウーマンの自分。今の夢って何だろうと考えてみました。

そういえば、財団を卒業したころの夢は【日中文化経済交流の架け橋になる】ことでした。気づけば、仕事をするようになって15年経ちました。微力ながらも、現在の仕事である、調達プロキュアメントマネジメントを通じて、日中の同僚、中国の取引先と連携して、新商品を立ち上げることなどで、夢をある程度実現出来ていると考えています。今後も、継続的にこの夢に向けて、全力を尽くしたいと思います。

ただ、今は、40歳を過ぎたからこそ、この夢以外にも沢山の小さな夢や目標があります。

近々叶えたい夢

- ①TOEICで今年中に900点を取りたい。
- ②11月に主人の夢であるイタリアで行うオセロ世界戦に家族で応援しに行く。
- ③健康や体力が第一なので、今年中にスポーツジムに通い始める。

そして、5年以内に叶えたい夢

仕事の面では、調達領域の経験を活かしながら、グローバルサプライチェーンマネジメント業務にチャレンジし、より幅広い領域で、日中の経済交流に貢献していきたいです。

また、コロナで自粛していた家族での海外旅行を再開し、少なくとも3か国を訪ねたいです。より子供と自分の視野を広げたいと思います。

10年以内に叶えたい夢

サラリーマンを辞めて、友人とともに日中貿易関連の会社を立ち上げたいと思います。そこで、資金を貯めて、定年後に主人と世界一周旅行に行きたいと思います。

とてもシンプルな夢ばかりですが、ただ、私は責任感が非常に強いので、キャリアウーマン、そして男の子2人の母親として、正直ストレスがたまる時も多々あります。一日一日を大事にし、健康な精神状態で元気に明るく毎日を過ごして、夢を着実に一つずつ実現していきたいと思います。

### ご寄付いただいた皆様へ

この度は、竜の子財団の奨学生を代表し、ご寄付いただいた皆様に心から感謝申し上げます。私たちは、それぞれ夢を抱き日本に留学してきました。しかし、経済的な負担が大きいと、夢を実現するどころか、留学生生活を平穩に過ごすことすら困難となるのが現実です。竜の子財団の皆様のご支援のおかげで、私たちは勉強しながらの長時間のアルバイトを強いられることなく、勉強と研究に専念することができ、充実した留学生活を送ることができました。また、毎年の交流会などの活動を通じて、さまざまな経験を得ることができました。財団の皆様や他の国から来た奨学生、OB・OGとの交流の機会を与えていただき、日本社会や世界に対する理解を深めることができました。皆様のご厚意に報いるため、私たちは今後も各自の分野で一層努力してまいります。改めて感謝の意を表し、皆様のご健康と幸福を心よりお祈り申し上げます。

(令和5年度竜の子奨学生 筑波大学 劉 楚帆)

# 第44回交流会レポート

## ● 第16回卒業式 ●

令和5年3月25日（土）、東京・XEX日本橋にて竜の子奨学生8名が竜の子財団を卒業する日を迎えました。卒業生は華やかな着物で入場し、秋元理事長から式辞をいただきました。卒業生代表の挨拶で冀媛媛さんが財団と過ごした二年間を振り返り、関係者の皆さまへ心より御礼を申し上げます。

### 理事長挨拶

#### 秋元 竜弥 理事長

新しく竜の子奨学生となりました学生の皆さん、おめでとうございます。この財団の唯一の特色は、皆さんに奨学金を支給するだけでなく、このような会を含めて、年2回から3回交流会を回っていることです。その意味では、数ある財団の中でも、皆さんと一番距離の近い財団なのではないかと自負しております。

それから、本日卒業します11名、今日来られているのは8名、3名の方は諸事情で先に卒業させてもらいましたが、本当におめでとうございます。いくつかの交流会、今でも鮮明に覚えておりますが、今日の着物の姿は、ぜひたくさん撮っていただいて、母国のご両親に送ってあげてください。なお、本日列席はされませんでしたけれど、この場を借りて、毎年卒業生の皆さんに着物を提供してくださっている日本和装の方々、本当にいつも思い出に残る着物を着させていただいてありがとうございます。

また、本日は6年ぶりのOBOG会を開催いたします。毎年やっております交流会が横のつながりであれば、この4年に一度のOBOG会というのが縦のつながりになって、皆さんとの交流がさらに深まっていくのではないかと考えております。OBOG会が始まりましたらまた改めて挨拶させていただきますが、本当に懐かしい顔ぶれが揃っております。嬉しく思っております。それでは、卒業生の皆さん、改めてご卒業おめでとうございます。

### 卒業生代表挨拶

#### 冀 媛媛

竜の子財団の方々、奨学生の皆さん、こんばんは、名古屋大学博士後期課程の冀媛媛です。このたび、卒業生代表として、挨拶することができ、とても光栄に思っております。

光陰矢の如し、あっという間に卒業を迎えました。財団の皆様と初めて会ったのは、2021年3月29日でした。その

日、私はとても緊張していて、自己紹介のビデオも2回撮っていただきました。幸いにも、皆さんがとても話しやすかったので、私も段々馴染むことができ、この大家族の一員となったのです。この2年間は、本当に財団

に守っていただいたおかげで、安定した生活を送ってきました。周りに休学する人もいたことを考えると、私たちはいかに恵まれているのかが分かります。コロナ禍においても、私たちがひたすら自分の研究に集中し、頑張ることができたのは、竜の子財団のおかげだと思っております。財団にもこのご時世で大変なことがあったと思いますが、続けて応援していただきました。財団の皆様、本当にありがとうございます。もちろん、経済的なご支援だけではなく、毎年財団の皆様は、私達奨学生をいろいろなところに遊びに連れていってくれます。アスレチック、釣り、ボウリングなどいろいろありました。個人的には、こういう体を動かすイベントが大好きです。アスレチック、釣り、乗馬は全部初体験で、とても楽しかったです。これらは、日本での大切な思い出になるでしょう。

いよいよ、私の留学生活が終盤を迎えます。明後日、名古屋大学の卒業式に参加し、博士号の学位賞を取ります。皆様のご支援がなければ、とても手に入れないものでした。この場を借りて、改めて財団の皆様へ感謝の意を申し上げます。この2年間本当にお世話になりました。

世の中には、やりたいことがあっても、サポートしてもらえない人たちがたくさんいます。私たちは、この幸運を大事にして、やりたいことをやり遂げましょう。また、自分に余裕ができたなら、社会に恩返しをしましょう。これで、卒業生代表の挨拶を終わらせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



## ● 第17回贈呈式 ●

同日、XEX日本橋にて第17回贈呈式が開催されました。第17期は11名の留学生たちが、新たに竜の子財団の一員として加わりました。周瑩樺さんが新入生を代表して、感謝の気持ちと竜の子一員としての決意について話しました。

### 新入生代表挨拶

周 瑩樺

第17回の贈呈式の新入生代表スピーチを務めさせていただきます周瑩樺と申します。春から東京大学経済学研究科の一員として、実証会計学を専攻します。



はじめに、奨学生を代表して、竜の子財団に感謝を申し上げます。私は、大学での学びを継続し、研究を通じてこれまで学んできた知識を社会に還元したいと思い、大学院進学を志しましたが、いちばんの難点が資金でした。私の両親は定年退職しているため、大学院の学費と生活費を賄うためにアルバイトを増やす必要がありました。ですが、アルバイトを増やすほど、研究に費やす時間が減ってしまうため、十分な研究時間を確保できないことを危惧していました。そこで手を差し伸べてくださったのが、竜の子財団でした。竜の子財団は、私に自分の夢を形にする機会をくださったのです。心より感謝申し上げます。

次に、奨学生の皆さんに向けてです。竜の子財団の奨学生は、将来的には国際交流の架け橋となる使命を担っています。そのためには、常日頃から異なる価値観や思考を持つ人々とコミュニケーションをする必要があります。それは決して簡単なことではないです。人はコンフォート・ゾーンに留まる生物です。学業やアルバイトに明け暮れている時、言語や文化の壁にぶち当たった時、私たちは国際交流から背を向けてしまうことがあると思います。そんな時は、自分が留学を決断した日のことを思い出してください。あの日の私たちは、コンフォート・ゾーンを確かに抜け出し、大きな一歩を踏み出したのです。その時の自分を振り返ることで、きっとまた頑張ることができると思います。

最後に、本日このような交流の場を設けてくださり、また今後も支援して下さる竜の子財団に改めて感謝を申し上げます。私のスピーチを締め括りたいと思います。

(担当：第17回奨学生 東京大学 周 瑩樺)

### OBOG会の理事長挨拶

皆さん、改めてこんにちは！今日は、6年ぶりのOBOG会です。コロナ禍の中2年遅くなってしまいましたが、4年に一度、OBOG会をやっております。今日は第一期生から、第十四期生まで集



式辞を述べる秋元理事長

まり、本国に帰って活躍している人もいますし、大体が日本に残られて活躍している人たちですが、本当にうれしく思っています。それと、OBOGの子達一人一人とちょっとお話ししましたが、皆さんやはり優秀で、いろんな分野で活躍していると聞いていて、本当にうれしく思います。

今日のOBOG会では、新しい竜の子奨学生の方たちに、積極的に先輩たちから声をかけてあげてください。同郷の方もいるでしょうし、同じ大学の出身の方もいるでしょうし、また、第一回から行ってきた交流会のいろんな話などで、交流を深めていただければと思います。また、皆さんのお手元にある会報誌についてですが、この会報誌も、学生さんが作ります。こちらの編集員の方に作っていただいています。今日の贈呈式、そして卒業式とこのOBOG会も、会報誌に載せて特別号として、作りたいと思います。それでは今日は、ゆっくり、いろんな話をしましょう。

### OBOG挨拶 朴 敬玉さん

皆さんこんばんは。本日は、このような素敵な場をもうけてくださりまして、秋元理事長と財団の担当者の方々に深く御礼申し上げます。私は二期生で竜の子財団を卒業したのは2009年3月です。理事長が卒業生ひとりひとりにくださったプレゼントとはがきは今も大切にしています。これらは私の大事な宝



物でもあります。

竜の子財団から卒業してすでに14年になりますが、財団とのご縁もあって、その後ヒロセ財団からも博士論文を提出するための奨学金をいただきました。その後は二児の母となり、育児をしながらずっと夢を諦めずに頑張ってきたおかげで去年の4月から帝京大学の経済学部で准教授を務めております。本日は大学時代に戻ったような暖かさを感じています。6年前のOBOG会に参加できていなかったのが11年ぶりでもありますけど、皆さんが暖かく迎えてくださって、心が温かくなります。今日は新入生の皆さん、卒業生の皆さん本当におめでとうございます。感謝の気持ち、夢を諦めないこと、そして私が特に強調したいことは、絆、ご縁を大切にすべきであるということです。本日は本当にありがとうございました。

**OB挨拶** ラ ヒロカツ **羅 宏勝さん**

OBOG会に参加した際の素晴らしい経験を共有いたします。

OBOG会に参加したことで新たな友人との出会い、古き友人との再会があり、心温まるひとときを過ごすことができました。

秋元理事長の導きのもと、竜の子家族の繁栄と、深まる竜の子たちとの絆を感じ、自身も幸福な気持ちに包まれました。

当日、心から伝えたい思いがありました。

10年前の自分たちの軌跡が心によみがえり、これから新たな段階に進む竜の子たちと、初心を忘れずに邁進する大切さを共有したいと思いました。

竜の子の仲間達と共に、自分の描く目標に向かってうちよせる波のように日々立ち向かっていくことが、私の願いです。



**乾杯挨拶** ソン チャンソク **宋 昌錫さん**

尊敬する秋元理事長、並びに竜の子財団関係者の皆様、そして今日ここに集まっていた竜の子財団奨学生の皆さん、こんばんは！私は先ほど紹介いただきました3期の、東京大学出身の



宋と申します。よろしくお願いいたします。

まずは、この素晴らしい卒業式と贈呈式、またOBOG会に参加させていただき本当にうれしいと思っております。竜の子財団から支援を受けた者としてこの場借りて、心から感謝申し上げます。

今日卒業される皆さん、卒業おめでとうございます。多くの努力と苦労があったと思いますが、皆さんの頑張りがあったからこそ、この場に立つことが出来たと思います。

これからも皆さんには、自己啓発し社会に貢献できる人材として輝いてほしいと思っております。

竜の子財団からの支援は私たち若者にとって夢や希望を叶えるための貴重な存在です。今でも変わらず竜の子財団が行っている、夢を持ち努力する若者にチャンスを与える活動は素晴らしいと思っております。私たちもこの夢を胸に、竜の子財団に恩返しすべく、社会に貢献することを誓い、竜の子財団の活動を応援し続けていきたいと思っております。

最後に今日の6年ぶりの竜の子財団OBOG会及び卒業式、贈呈式を祝い、乾杯したいと思います。皆さんおめでとうございます。これからも竜の子財団の支援によって、支えられた人材が社会をよくしていくことを願っています。乾杯しましょう！

**OG挨拶** チン エツ **陳 悦さん**

6年ぶりに、秋元理事長をはじめ、久しぶりに財団の皆様、卒業生、また新たに財団の一員になった奨学生の皆さんに会えて、とても嬉しかったです。皆様の元気で生き生きした顔を見て、またOBOGメンバーがそれぞれの職場で社会に貢献されていることを聞き、自分の励みになった気がします。OBOGの皆さんが財団にいた頃に受けた恩恵を自分の力に変え、その力で社会に貢献していることを改めて感じました！



**OB挨拶** チヨウ チュウ **張 冲さん**

久しぶりに竜の子財団のOBOG会に参加ができて非常に良かったです。

特に長女の恵と長男の恩も参加でき、各国の方とお会いし、話ができて良い体験と思いました。



過去に恵は小さい時に一度参加したことがありますが、今回は上智大学の大学生として皆様と会えることに長女ともに感激しました。私たち家族の成長は、竜の子財団の応援があるからこそです。

子供たちにはこれからの人生、感謝の心を持ちながら努力を尽くして立派な人間に成長し、社会貢献ができるようになってほしいです。

このようなOBOG会は良い教育の場にもなっています。秋元理事長をはじめ、竜の子財団に感謝を申し上げます。

### OG挨拶 宋 寿蓮さん

卒業生たちの着物姿はとても美しく、財団および関係者の応援の気持ちを強く感じました。また、第1期生から第14期生までのOBOGが集まり、皆さん本当に素晴らしい人材ばかりです。



久しぶりに財団の交流会に参加出来て、まるで故郷に帰ってきたような心地です。秋元理事長や関係者の皆様に再会できたことが大変嬉しいです。現在は財団のOGとして、NPO法人福祉施設およびバイオ炭生成事業に関わっています。未来への抱負や理想を持ちながら、次世代に希望と勇気を届けるために尽力し続けます。

### OG挨拶 孫 敏華さん

OBOG会に参加して、竜の子財団の卒業生の中には、既に公益活動を始められている人がいることを知って驚きました。

私も日本へ留学して、精神的、体力的に一番大変な時期に竜の子財団の支援を頂いたおかげで、困難に立ち向かって、大学院を卒業することが出来、そして日本で医師になることができました。



秋元理事長はじめ、財団関係者、寄付者の方々へは今も感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。

私も早く経済的、社会的に強くなり、竜の子財団のような公益活動を支援したいと思っています。

### OB挨拶 魏 登輝さん

何年ぶりかの竜の子財団のOBOG会、それは感動的な再会の場となりました。緊張する新しい奨学生たちの自己紹介を聞いて、今後の皆さんの成長が楽しみになりました。そして、懐かしきOB、OG



たちとの交流は心温まるひとときでした。コロナ感染症の影響で物理的な距離を置いていた我々ですが、OBOG会を通じて再び絆を深めることができました。

また、理事長からのふるさと納税品のプレゼントも素敵なサプライズでした。その心遣いに感謝の気持ちをお伝えしたいです。今回のOBOG会は本当に思い出深い一日となり、新たな活力を与えてくれました。これからも少しでも早く財団に恩返しできるよう、一生懸命精進していきます。

### OG挨拶 杜 銘雨さん

大変久しぶりにOGOBや、理事長に会えて、とても嬉しかったです！懐かしい昔話や、皆さんの近況も話せてよかったです。皆さんからたくさんパワーを頂きました！企画、運営に関わった皆さま、ありがとうございました！



### スピーチする 何 玄悦さん



**OB挨拶 朱 震さん**

想像以上にたくさんのOBOGに会えてビックリして凄く嬉しかったです。

特に一期生からの皆さんの近況が聞けて、改めて奨学生のみんがそれぞれ良い道に進んでいることに感心しました。

久しぶりに皆さんと、近況報告から最近夢中になっていることまで話が弾んで楽しかったです。

本当に、ご縁があって竜の子財団の一員になれて良かったです!!



**OB挨拶 張 愚さん**

今日は、OBOG会で皆様にお会いできることを楽しみにしながら会場に向かいました。久しぶりに会えた友人とは、お互いの近況を話したり、また初めてお会いした方とも、それぞれが現在取り組んでいることを熱く語ったり、非常に和やかで温かい時間を過ごすことができました。コロナ禍ということもあり、今回のOBOG会を開催するまでには、企画から準備など大変なことも多かったと思います。秋元理事長をはじめ、スタッフの皆様には心より感謝申し上げます。



**OB挨拶 マハルジャン スニルさん**

こんばんは。OB代表としてご挨拶させていただきます。ネパール出身のマハルジャン スニルです。財団を卒業して9年が経ちました。今私はITエンジニアとして働いています。

学生時代には、竜の子財団でいろんな経験をさせていただいたお陰で、アルバイトと学業だけでなく、充実した毎日を過ごすことができました。

卒業して1年後、私の国では大きい地震があり、その影響で私の実家が倒壊してしまいました。約3年にわたって



家を建て直し、今は地震の前のように普通に生活しております。

終わりが見えないようなコロナの時代がありましたが、今はみんな普通の生活に戻りつつあります。

このように、叶えられないように見える夢も、諦めさえなければいつか叶います。私は今、日本とネパールを結ぶビジネスの道を模索しています。学生時代に夢見ていた「社会に貢献できる仕事」を目指し続けています。

コロナ禍で会えなかった皆さんに会えて今日は非常にうれしいし、楽しいです。ありがとうございます。

**OG挨拶 朱 琳さん**

8年ぶりのOBOG会にご招待いただき、誠にありがとうございました。開催の数日前から、ずっとわくわくしていて、8年ぶりの先輩や同級生の皆さん、今はどうなっているかなと思って

いて、楽しみにしていました。理事長や財団の先生たちや奨学生の皆さんと会えて、みんな変わりがなく、相変わらず元気で、各領域で活躍していて、本当によかったなと思います。コロナ明け、世の中もだんだん元に戻りますので、次回のOBOG会にて皆さんと再度会えるよう、楽しみにしています。



**OG挨拶 呂 澄さん**

OGとして参加したのは初めてでしたが、初期生から現役、そして今年の新入生がいらして、多様な年代、国、業界（専攻）の人が集まることに驚きです。改めて財団ネットワークの広さと強さを認識

しました。これは、理事長を始め財団運営の皆様がいかなる環境でも継続的に活動して下さったおかげだと感謝しています。

そして、社会人になって仕事以外で新たな出会いが限られている今、OBOG会のような機会がとても貴重です。実際、当日は様々な業界・国で活躍している先輩、また生き生きしている後輩とお話ができて、何事も「ヒトのつながり」が大事だと感じました。



**OB挨拶 シャリアズ エムディさん**

皆さんこんばんは！まず、第一の報告は、今日で私が日本に来てちょうど10年になりました。そしてちょうど2年前に、日本人になりました。この国に貢献しつづけていきたいです。今は会社で働いていますが、東京に



いるので、皆さんとこれからまた、OBOG会でお会いできたらと思います。久しぶりに竜の子奨学生の皆さんと会えてうれしく思います。皆さんにもどんどん人生を楽しんでほしいなと思います。

**OB挨拶 キム テヒョン 金 兌炫さん**

この機会に「健康第一なので、若いうちから健康をしっかりと管理しましょう」という話をしたいと思います。

竜の子財団の現役の皆さんは20代が大半なので、“健康の話”と聞く



と“まだ若いし、私なら全然大丈夫ですよ。”と思う人が多いと思います。実際、30代だった私も同じ考えでした。

しかし、自分の健康を管理し心身ともに安定している今の私なら、研究や勉強を言い訳にして、健康を考えず毎日不規則な食事と睡眠不足の生活を続けた過去の私に、その生活だとストレスと脂肪のみが溜り、その結果頭も回らなくて物事が全て上手く進まず悪循環になること教えます。

これから研究や勉強に励む竜の子財団の現役の皆さんはOB・OGよりももっと高く羽ばたいて欲しいので、今からでも遅くないので毎日運動を30分程度して、睡眠時間も7時間以上は取るように健康管理をして欲しいです。

**OB挨拶 カク ケンピョ 郭 錦表さん**

秋元理事長をはじめ財団の皆様、同期や先輩方と5年ぶりに会えてすごく嬉しかったです。また、後輩たちや新入生達と交流できて楽しかったです。

先ほども少し話しまし



たが、私にとって竜の子財団は暖かい日差しが降り注ぐ緑側のような存在です。研究や勉強を頑張らなきゃと自分を追い込んでいた大学院の生活のなかで一息休み出来る、癒される場所でした。

修士時代はバランス感覚があまりなくて、研究ばかりに力を入れていましたが、竜の子財団が経済的な支援や心の豊かさを賄ってくださって無事に修士課程を卒業することができました。この場を借りて財団の皆様にご挨拶申し上げます。

私は兵役の義務を終えて、昨年の後期に博士後期課程の学生として東工大に戻りました。財団から頂いた恩を社会に返したく、今はカーボンニュートラルの実現に貢献するためプラズマによる二酸化炭素分解の技術の工業化を目指しています。

竜の子財団での思い出を原動力として、これからも頑張っていきたいと思います。

**OG挨拶 トウ テンリ 唐 天利さん**

今回のOBOG会を機会に、皆さんと5年ぶりに再会できたこと、多くの新しい友達と出会うことができ、大変うれしく思っております。皆で過去を思い出し、現在を共有し、未来を楽しみに、幸せで有意義な夜を過ごしました。



竜の子財団のおかげで、比較的リラックスした環境で勉強し、目標に向かって頑張ることができましたし、皆さんと出会い、知り合う機会をいただきました。本当に感謝しています。社会人6年目に入りましたが、これからも初心を忘れず感謝の気持ちを持って頑張っていきたいです。また次回のOBOG会で皆様とお会いできることをとても楽しみにしています。

**OG挨拶 ケン エ 権 慧さん**

皆さん、こんばんは。まず今まで夢を支えてくださった竜の子財団の皆さんに感謝申し上げます。私は2018年3月に卒業しまして、その後無事博士号を取得しました。当初財団面接の時、椎塚





先生に夢は何かと聞かれました。「将来文学を教えて、より多くの人に文学の魅力を伝えたい」と答えましたが、財団のお陰様でその夢が少しずつ実現できており、現在早稲田大学で大好きな村上春樹文学をはじめ、日本文学を教えています。ここで新入生の皆さんにシェアしたいのは、財団のコンセプト「その夢は、きっと世界を変えていく」のように、まず自分の夢を大切にしてください、その夢は必ず叶います、そしてより良い世界が待っています、ということです。ありがとうございました。

#### OG挨拶 マハウオンウィリヤ スタシニーさん

OGとして参加するのは今回初めてでしたので、ご連絡いただいた時からとても楽しみにしていました。もちろん同期や先輩に会えたのは嬉しかったのですが、何より大学3年間お世話になった財団の皆様にお会い



できるのをとても楽しみにしていました。当日は特に交流会の話や、みんなで作った記念品の話など懐かしい話で盛り上がっていました。記念品は、マグカップのデザインを担当させて頂きましたが、まだそのことを覚えてくださった方もいて、色々思い出話ができとても楽しい時間でした。

#### OG挨拶 チャンポーンプックディー インオンさん

こんばんは！皆さんからミンドウと呼ばれている人といいます。私の言いたいことはほとんど皆さんがおっしゃっていましたので、私はまだ皆さんおっしゃっていないことを言います。一番大事なのは、このように、皆さんが集まり、交流して、人脈を作って、その人脈を大事にしていくことだと思います。



私はまだ学生ですが、今博士で6月に卒業します。入学する前も、した後も、在籍している間も、いろいろな悩みなどを聞いていただき、本当にありがとうございます。そ

して、竜の子財団の皆さんも、今まで支えていただいていたように交流できる場所も用意してくださって、ホントにありがとうございます。

#### OG挨拶 <sup>リュウ ケンペイ</sup> 劉彦平さん

財団の皆様に応援されました。これから財団の人ではいられませんが、代表として感謝の気持ちを皆様に送りたいと思います。ありがとうございました。



理事長、本当にありがとうございました。心から感謝しております。これからもどんどん元気に頑張って、皆さんと幸せになっていきたいです。ありがとうございます。

#### 閉会挨拶 加藤理事

今日、新たに竜の子奨学生になった皆さん、そして卒業される皆さん、おめでとうございます。

卒業される皆さんには、新しい場所でも活躍して行って欲しいと思いますし、これからも応援しています。



そして、卒業生として、今後新しく竜の子奨学生になる人たちに「竜の子奨学生になるとこうなれるんだ」としてもらえる人になって欲しいなと思っています。

今日の交流会はOBOG会も兼ねていますが、OBOGの方の中には十数年ぶりに会う方もいて、とても感慨深いものがあります。

OBOGの皆さんにもずっとお会いしたかったので、今日という日を迎えることが出来て本当に嬉しいです。

これからもこうして財団との繋がりを維持してもらえれば嬉しいです。

これにて閉会の挨拶とさせていただきます。

今日は忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございます。



毎年、卒業生は日本和装ホールディングス株式会社のご支援により着物を着て参加しています

電報の辞

春色のなごやかな季節、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

この度は、ご卒業、誠におめでとうございます。

これまでの経験や出会った多くのご友人は、卒業生の皆様の財団となり、いつまでも心に残る事と存じます。

健康にご留意され、益々のご活躍されます事を祈念申し上げます。

日本和装ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 道面 義雄



電報 (和服写真)

(担当：第17回竜の子奨学生 東北大学 王 勇成、  
第17回竜の子奨学生 東京工業大学 金 栄牛)

## 令和五年度新入生紹介 「私の尊敬する人」

令和5年度の新入生11名をご紹介します。今回は、「私の尊敬する人」について新入生たちに語っていただきました。尊敬する人は、私たちの人生に大きな影響を与える存在です。彼らの価値観や行動から学んだことを活かすことで、私たちも日々成長していきます。ここで、皆さんの思いとともにご紹介させていただきます。



イ ウォンジュ  
**李 垣宙**  
(韓国出身)  
北海道大学  
経済学院  
現代経済経営専攻  
修士課程2年

私の尊敬する人は、数学者であり、経済学の分野に大きな貢献をしたジョン・ナッシュです。ゲーム理論である「ナッシュ均衡」でノーベル経済学賞を受賞した人として有名で、これによって経済学の分野をより一層発展させました。私が数学から経済学に専攻を変えた様々な理由の一つに、数学を使って経済学を研究したいという思いがありました。数学と経済学を勉強しながら感じたのは、両者は切っても切りはなせない関係で、さらに様々な学問と共同研究ができる融合型の学問であるということでした。私はこれらの点が非常に魅力的だと感じました。なので、私の夢である経済学者となっ

て、ナッシュのように経済学の分野で自分の理論を作りたい、多様な学問との共同研究をすることで経済学という分野をより発展させたいと思います。



オウ ユウセイ  
**王 勇成**  
(中国出身)  
東北大学  
工学研究科  
電気エネルギーシステム専攻  
修士課程2年

私の尊敬する人は、古代中国の文学者、蘇軾です。蘇軾は今から1000年前の宋王朝に生きた、中国史上でも非常に有名な文学者です。彼は、今日まで受け継がれ、広く称賛されている多くの作品を残しました。しかし、蘇軾の経歴は順調ではなく、その直情的な性格から、政治闘争で何度も挫折しました。重要な役職にも就きましたが、すぐにまたどん底に落ちてしまいます。そんな人生が、次第に彼の心を広くし、浮き沈みに平静に対処できるようになりました。彼のさまざまな代表作の中には、このような開放的な楽観主義的な生き方がしばしば見受けられ、私は大いに感心しています。私

は父の影響で文化や歴史に興味があり、蘇軾は大好きな文学者の一人で、彼の著作を読むと、いつもこのような人生の哲理を洞察することができます。

私の夢は、半導体業界の専門家になることで、そのためには様々な困難が伴います。彼のように、挫折や苦難に対して楽観的でオープンな姿勢で成長したいと願っています。



リュウ ソハン  
**劉 楚帆**  
(中国出身)  
筑波大学  
人文社会ビジネス科学学術院  
人文社会科学研究群  
国際日本研究学位プログラム  
博士後期課程3年

私の尊敬する人は、私の指導教授である高木智世先生です。高木先生は、私が研究生の頃からいつも親切丁寧な指導に感謝しています。研究生の面接を受けた際、私の日本語がまだ上達していなかったため、とても緊張しました。しかし、先生が笑顔で「日本に来たら、自然と日本語が上達するから、緊張しなくて大丈夫ですよ」とおっしゃってくださったおかげで、私は落ち着いて話すことができました。

修士に入学後、私は「ゼロから会話分析」という分析手法を学び始めましたが、最初は理解しきれない部分が多かったです。その時も、どんな些細な疑問であっても、先生はいつも丁寧に説明してく

ださいました。また、研究の進捗が芳しくない時にも、先生は常に親身になって相談に乗ってくださいます。これまで、先生のご助言とご指導のおかげで、私は数々の困難を乗り越え、有意義な留学生活を送ることができました。

さらに、先生は自身の研究にも真摯に取り組まれ、その情熱と努力は私に大きな影響を与えました。データセッションの際、長時間になると大抵の人は疲れてしまうものですが、先生だけは「データを見る限り、いくらでも見続けられる」とおっしゃっています。その姿勢にとっても感銘を受けました。

私の夢は、日本語教師になることです。将来、私も高木先生のように学生を尊重し、助ける存在になりたいと思います。



マン コウゲツ  
**万 皓月**  
(中国出身)  
東京大学  
公共政策大学院  
経済政策コース  
修士課程2年

私の尊敬する人は祖父です。その理由は2つあります。

まず、彼は困難に直面した時にいつも楽観的な姿勢で取り組み、できる限りのことをします。例えば、大学卒業後、祖父は専攻とは全く関係のない仕事に配属されましたが、不満を抱くことなく、それを新しい技術を学ぶ機会と考えました。努力を重ねた結果、彼は中国の鉄鋼産業に重要な貢献をしました。

次に、周囲の人々が困難に直面した時、彼は惜しみなく助けを差し伸べます。例えば、正規の教育を受けられなかった彼の弟や妹たちに対し、祖父は理科の先生となり、彼らが自宅で学ぶ手助けをし

ました。さらに、私の叔母達も祖父の援助を受け、無事に学業を終えました。そのため、周囲の人々も彼を非常に尊敬しています。

私の夢は、祖父のような人になることです。内面的には、私は絶えず学び続け、困難に直面しても勇敢に立ち向かいます。対外的には、自分の経験とリソースを活用して他人を助け、困難に直面している人々が温かさや愛を感じられるように努力します。



シュウ インファー  
**周 瑩樺**  
(台湾出身)  
東京大学  
経済学研究科  
マネジメント専攻  
修士課程1年

私の尊敬する人は中高の担任だった先生です。先生は週一のホームルームの時間には必ず、一つの小さなストーリーを教えてくださいました。それらは、最近のニュースに関する先生の見解だったり、道徳や人生に関する示唆であったり、その時は理解できなかった言葉もありました。ですが、のちに自分の力不足に落ち込んだ時、何をどうしたらよいかわからなくなった時、私は不意にその先生のストーリーを思い出し、励まされたことが多々ありました。卒業して先生とあまりコンタクトを取らなくなっても、先生のストーリーは私が困った時の道標となっていたのです。「一日為師、

終身為父」(中国の諺であり、「一日でも師として仰げば、一生父として慕う」という意味です)とはまさに先生のことを指しているのだと思います。私も先生のように、誰かにとっての人生の道標になりたいと思います。



キム ヨンウ  
**金 栄牛**  
(韓国出身)  
東京工業大学  
物質理工学院  
応用化学系  
修士課程1年

私が尊敬する人は自分の指導教授です。理由は、教授が持つ仕事に対するタフさに感銘を受けたからです。

去年の10月から自分が使用している実験機器がどんどん壊れていき、自分の研究を全く進められず実験機器のメンテナンスしかしていなかった時期がありました。修理を始めて1か月後、それまでのやり方では機械を結局直すことができず、非常に落ち込んでいました。そのことを進捗発表会で報告したところ、教授は「そうしたら他のアプローチでやってみよう」と冷静に言ってくださったのです。それは、どんな慰めよりも力になる言葉で、私はその後元気を

出してメンテナンスに取り組み、機械を直すことに成功しました。失敗があっても落ち込むことなく、「他の方法を試してみればいい」と考えることは、今も研究や就職活動を進める中で力になっています。これからもストレスをためずにやるべきことを冷静にやっていく人になりたいと考えております。



チョン ルイシヨン  
**庄 睿翔**  
(マレーシア出身)  
東海大学  
工学部  
電気電子工学科  
学部2年

私が尊敬する人は、世界を旅することを生きがいとし、自分の夢を追い求める姿勢がすばらしいマークです。私とマークは、マークが働いているゲストハウスで出会いました。マークは世界を旅していて、そのストーリーを沢山聞きました。彼の旅の経験や、困難を乗り越えたエピソードは、私に勇気と感動を与えてくれました。彼の情熱と冒険心は、私に自分の夢を追い求める力を与えてくれます。マークの生き方は、私にとって尊敬すべきモデルであり、彼のように世界を巡りながら自分自身を成長させることを目指しています。

私はマークのように、自分の夢を実現するために困難に立ち向かいたいと思っています。彼の勇気や決断力、そして困難を乗り越える力は、私に力と希望を与えてくれます。私は彼のように、旅を通じて世界を肌で感じ、人々との交流を通じて互いに学び合うことで、より豊かな人生を歩んでいきたいと願っています。



セキ カンジン  
**戚 涵欽**  
(中国出身)  
東京電機大学  
工学部  
電気電子工学科  
学部4年

集し、処理し、耳の優れた友人に一つずつ聞き比べてもらい、地道にファイルの縮小と音質の向上を実現していきました。その他に、彼は心理音響学など他の分野も学び、ファイルの縮小にさらなる改善をもたらしました。

私はブランデンブルグの情熱的な研究姿勢に感銘を受けました。彼から学び、情熱を持って研究に取り組みたいと思っています。

私の尊敬する人はカールハイツ・ブランデンブルグ (Karlheinz Brandenburg) です。彼はドイツの電気技師です。彼と彼のチームはMP 3を開発しました。MP 3は音声ファイルの形式であり、私たちが日常的に小さなファイルで高品質の音楽を楽しむのは彼らのおかげです。

私がブランデンブルグを尊敬する理由は、彼がまだ大学院生の頃からMP 3の開発に取り組んでいたからです。私も現在、信号処理について研究していますが、その困難さを痛感しています。MP 3を完成させるには並外れた努力が必要です。彼は世界中の音楽を収



ソウ チョウ  
**宋 兆**  
(中国出身)  
一橋大学  
言語社会研究科第一部門  
言語社会専攻  
修士課程2年

がほとんどありませんでした。古典文学の先生の授業を取って以来、日本の古典文学の面白さを堪能できたのはもちろん、それ以外に自分の生活に対しても考え直すことができました。今後の人生に対して目標を決め、生活の本質を見極めて、周りの評価に左右されずに、生きていきたいと思っています。

私の尊敬している人は大学の時に古典文学を教えてくれた先生です。授業の時に、彼の日本の古典文学に対する愛がしっかりと伝わり、先生として仕事で古典文学を教えるだけでなく、いろいろな展示会を紹介してくれたり、古典文学の面白さを語ってくれたりしました。先生にとって、古典文学を研究し、その面白さを伝えることがすでにライフスタイルになっています。彼の好きなものに一心に情熱を注ぐ姿を尊敬しています。それまでは、日々多かれ少なかれ周りの人や社会に影響されて、社会の波に流されながら生きていました。何に対して頑張りたいのか、何が好きなのかも考えたこと



バン ジョンファン  
**方 鐘 奐**  
(韓国出身)  
立命館アジア太平洋大学  
国際経営学部  
国際経営学科  
学部4年

れ自由な体で生きて、かつ誰かのために生きていることが素晴らしいと思いました。私も来年から働くようになると思いますが、グラント・カードンのように人々を助けられる人材として成長していきたいと思っています。

私が尊敬している人はグラント・カードンです。この人は昔麻薬中毒者でしたが、今はコンサルティング会社のCEOであり、SNSや講演会で人々にモチベーションを与えるために様々な分野で活躍しています。私は彼が書いた本を読んでから彼のことを尊敬するようになりました。本には、グラント・カードンが今までどのような流れで生きてきたのかと、人々にモチベーションを与えるための内容が書かれていました。私は、自分が麻薬中毒者だったら、コンサルティング会社を設立して人々にモチベーションを与えることができたのかと考えつつ本を読みました。麻薬中毒者が、薬物から解放さ



ヨウ ジャックヒ  
**楊 若 飛**  
(中国出身)  
東京海洋大学  
大学院海洋科学技術研究科  
応用環境システム学専攻  
博士課程2年

買い物をしていたとき、私がプラスチック袋を取ろうとした際に、先生はエコバッグを取り出し、私にも一つを渡しながらこう言いました。「私たちは海洋プラスチックの危険性を深く理解し、実際に管理できる部分は非常に限られていることを知っています。本当に効果的な方法は、プラスチックごみの出口を制限することです。それは言葉で述べるほど簡単なことではありません。それには全ての人々の参加が必要です。あなたがその分野の学生でありながらこのことに気づかないということは、私たちの前途はまだ遠いということです。」その言葉は今でも私の心の中で響いています。

先生の教えを受けて、海洋環境事業に参加したいと思うようになりました。将来教師になることを希望しています。私は知識を伝え、教育を行い、疑問を解消することにより、社会に貢献したいと思っています。

中学生の頃以来、私が誰を尊敬するかについて真剣に書く機会はほとんどありませんでした。しかし、年を重ねるにつれて、尊敬する人も増えていき、尊敬する人を一人だけ選ぶことはいささか難しいです。

そんな中教師への尊敬は中国の伝統的な美德であり、そして私たちは人生で多くの教師と出会い、「教師」という職業、及び自分を指導する先生に対して尊敬の念が自然に生まれます。

私の大学の指導教員は純粋な海洋環境学者で、常に海洋プラスチック汚染とその監視・管理の研究に打ちこんでいます。例えば、

## 竜の子近況報告



構内に住んでいる鴨

イ ウォンジュ  
李 垣宙 (韓国)  
北海道大学

### 「自然と共の修士生活」

皆さん、お久しぶりです。最近私は修士論文のため忙しい日々を過ごしています。修士1年より講義は少ないのですが、より忙しくなり修士論文を書くことはすごく大変なのだと実感しています。研究することは面白いですが、精神的にも体力的にも疲れてしまうのは仕方がないようです。そこで、最近は構内を散歩するのが趣味になりました。北大キャンパスは自然そのものなので、さまざまな動物やお花を見ることができます。穏やかながらも忙しい日常の中で、毎日リフレッシュしながら修論を書くことができますので後悔が残らないように最後まで頑張っている論文を書きたいと思います。



入場前の私

オウ ユウセイ  
王 勇成 (中国)  
東北大学

### 「米津玄師さんの公演に行きました」

みなさん、ご無沙汰しています。5月14日、有名な歌手の米津玄師さんが、全国ツアー公演のため宮城県に来ました。米津さんの歌が好きな仙台在住の私は、絶対いきたいと思い日本人の友達と一緒にに行ってきました。仙台駅から20分JRに乗って、宮城セキスイハイムスーパーアリーナに到着しました。数万人を収容できるアリーナはほぼ満席でした。写真撮影は禁止で、私は後列の席だったため、遠くからしか米津さんを見ることができませんでした。公演は約2時間で、照明、音響、雰囲気はどれも完璧でした。米津さんのライブパフォーマンスも素晴らしく、やはりトップ歌手だと思います。観客とのかけ合いも面白く、驚いたことに米津さんの話す声は歌声よりすごく低く聞こえました。終演後、友人はまだ興奮冷めやらず、彼と一緒に2時間カラオケで楽しみました。本当に楽しくて思い出深い体験になりました。

### 「ネモフィラを見に行きました！」



ネモフィラはすごくきれいでした！

リュウ ソハン  
劉 楚帆 (中国)  
筑波大学

みなさん、ご無沙汰しております。

4月末ちょうどネモフィラの見頃の時期にひたち海浜公園に行きました。つくばにはもう5年ほど住んでいますが、これまで一度も行ったことがありませんでした。そこで、今年こそは絶対に見てみたいと思い、研究室の友達を誘って一緒に行きました。

以前SNSで写真を見たことはありましたが、実際に見てみると、やはりその美しさに感動しました。無数の青い花が「みはらしの丘」を青一色に染め上げ、快晴の日にネモフィラと空が一体化している光景は、目をうばわれる美しさでした。

週末だったため、多くの人々が訪れていました。ネモフィラの写真をたくさん撮りましたが、人の影が写り込んでしまったものも多かったです。それでも、美しさは際立っていました。

また行きたいと思います～！

### 「就職活動が終わりました！」



岩盤浴の後に飲んだ牛乳はすごく美味しかった！

マン コウゲツ  
万 皓玥 (中国)  
東京大学

皆さん、ご無沙汰しております。長い就職活動がついに終わりました！体と心が疲れ切っていたので、内定をもらった直後に温泉施設に行って初めて岩盤浴を体験しました。普段、汗をかきにくい体質ですが、岩盤浴のおかげでたくさんの汗をかくことができ、とても心地よかったです！残りの学生生活を充実させるために、現在は様々なことに積極的に取り組んでいます。例えば、将来起業を目指しているため、夏学期からは起業に関連する授業を受けてアントレプレナーシップのスキルを身につけています。



癒しの  
タピオカ

シュウ インファー  
**周 瑩樺 (台湾)**  
東京大学

## 「大学院生活」

皆さん、ご無沙汰しております。最近は大学院の勉強と資格試験の両立に力を入れています。私が所属している研究室は、5人のうち2人が博士で、知識と研究へのモチベーションが非常に高いです。彼らと話すたびに新しい刺激を受け、自分の知識の不足を感じますが、その分学業により取り組もうと思えます。また、最近では資格の勉強も始め、とても忙しいですが充実しております。写真は癒しのタピオカです。高かったです。



研究室の飲み会にて、メンバーの出身地を示した日本全図の前で笑っている私。

キム ヨンウ  
**金 栄牛 (韓国)**  
東京工業大学

## 「研究室は楽しい」

お久しぶりです。お元気でお過ごしでしょうか。3年生、もしくは修士1年生の皆様はそろそろ就職活動のプレッシャーを感じているのではないかと思います。私も修士課程に入学し、研究と就職活動を同時に進めており、忙しい日々を送っています。でも、新しいことを学んだり、実験がうまくいっていい結果がでたりすると楽しいです。最近ではコロナの制限も緩和し、今年入ってきた学部生たちの歓迎会をしました。日本全図書き大会をしたのですが、国籍問わず、日本の地理は難しかったです。



ハムスターです

チョン ルイシヨン  
**庄 睿翔 (マレーシア)**  
東海大学

## 「私とハムスター」

みなさん、お久しぶりです！お元気でしょうか。私は元気に過ごしています。暑い季節を迎え、今年もすでに半分以上経っていますね。来年になったら就職活動が始まりますが、私はまだ大学生らしくいっぱい遊んでいます。最近、ゲストハウスでアルバイトを始めました。その職場では様々な人々と会えて、すごく楽しく働いています。あと、暇つぶしとして飼っているハムちゃんの似顔絵を描いてみました！



合格の瞬間

セキ カンシン  
**戚 涵欽 (中国)**  
東京電機大学

## 「大学院に合格しました」

在学中の東京電機大学の大学院学内推薦入試に無事合格しました。この成功も竜の子財団の応援のおかげであり、心から感謝しています。学部生活は残り少ないですが、後悔のないように引き続き勉学に励むつもりです。

私の大学では、学部4年生から研究室に配属される仕組みとなっています。新しい環境で友達作りに励んでいます。また、現在基礎知識の再確認や先輩の論文の理解には苦戦していますが、めげずに頑張ります。



妹との再会

マリカーラチュチ チャーミラ  
MALLIKAARACHCHI CHAAMILA

(スリランカ)  
早稲田大学

## 「妹との再会」

5月はいくつかの理由から私にとってとても幸せな月でした。その中の一つは私の妹が5月に日本に来たことです。私は彼女に会えてとても幸せで興奮していました。毎日ビデオ通話で話していましたが、これからは普通に会えるので、二人ともとても幸せでした。彼女が私の家に来たので、スリランカ料理を作ってくれました。私はスリランカの家にいるときは料理をしなかったのですが、彼女が私が作ったものを食べるのは初めてでした。彼女は私の料理が美味しかったとも言ってくれて、私も嬉しかったです。



渋峠の夜明けの景色

ソウ チョウ  
宋 兆 (中国)  
一橋大学

## 「五月に渋峠に行きました」

五月の時にサイクリングで長野の渋峠に行きました。山岳の多い日本ならではの景色が堪能できました。着いた時にはちょうど夜明けでしたので、綺麗な景色が見えました。山を登り切った後に見た景色がやはり心をリラックスさせてくれます。このリラックス法は皆さまにお勧めです。渋峠には有名な雪の壁がありますが、残念ながら五月中旬にもなると、ほとんど雪が残っていないみたいです。

また来年、機会があれば、雪の壁も見たいです。



高校の友達と渋谷スカイで

クオン ヒョツチェ  
権 赫宰 (韓国)  
名古屋大学

## 「高校の友達と東京旅行」

皆様、お久しぶりです。ここ最近では実験の計画を立てるなど、去年より忙しい日々を過ごしています。修士論文の内容に直結する色々な活動をしているので、卒業が近づいていることを少しずつ実感しています。そのような中、6月上旬に韓国から高校時代の友達2人が東京に来てくれました。2人は日本が初めてだったので、私が初めて来日したときみたいに何を見ても面白がって不思議がっていました。久々に会った友達と楽しい思い出が沢山できてよかったです。



学会で発表する様子

ゾウ カシン  
鄒 可昕 (中国)  
京都大学

## 「初めての国際会議」

皆さま、お久しぶりです。

この数ヶ月間毎日コツコツと研究に取り組んでいます。

5月中旬に韓国のソウルで開催された触媒学会に参加し、最新の研究結果を発表しました。異なる研究分野の先生や研究者のみなさんと議論を交わし、自分の研究をより深く理解し、いろいろ勉強になりました。

6月中旬にこれまでの研究内容をまとめ、なんとか締め切りまでに国際ジャーナルに投稿しました。この後どんなフィードバックを受け取るのか期待しています。

今年後半もいくつかの国際学会で発表する予定がありますので、自分自身がどのくらい成長でき、どんな経験を積んでいけるのかを楽しみにしています。





鹿児島市のレトロな街並みと路面電車

ヨウ ジャクヒ  
**楊 若飛** (中国)  
東京海洋大学

## 「鹿児島での学会に参加してきました」

皆さん、お久しぶりです。5月末に鹿児島大学で開催された水産工学会に参加いたしました。初めてのオフライン学会参加と、日本語での学会発表は私にとって大きな挑戦でしたが、このプレゼンテーションを無事に終えることができ、嬉しく思っております。

また、学会当日の半日、鹿児島市内で過ごすことができました。鹿児島では様々なカラフルな路面電車が走っており、そのレトロな街並みと共に街の象徴とも言える存在です。残念ながら、遊ぶ時間はあまりありませんでしたが、鹿児島は余暇を過ごすのにとっても素敵な場所であり、写真を撮りたくなります。いつか鹿児島でゆっくり遊んだり写真を撮ったりする機会がありますように、心から願っています。



街を一望できる山頂にある浮羽稲荷神社で撮った写真です

ヨウ ジョ  
**楊 茹** (中国)  
九州大学

## 「街を一望ができる山頂にある浮羽稲荷神社に行きました」

4月の月末ようやく投稿論文のディフェンスが終了し、原稿を雑誌に提出し、先日ようやくアクセプトされたので非常に嬉しく思いました。最近九州は梅雨の時期で、約一ヶ月間も記録的な雨が続き、外で遊ぶことができませんでした。そんな中、雨がしばらく止んだ午後を見計らって友達にドライブに連れて行ってもらいました。目的地は私がずっと行きたかった隣の浮羽市の山頂にある浮羽稲荷神社です。そこからは街並みを一望でき、眺めが非常に良い場所でした。九州を訪れる際にはぜひ行ってみてください。



別府野球チームのリーダーさんみたいにキャッチボールが上手になりたい私

バン ジョンファン  
**方 鍾奐** (韓国)  
立命館アジア太平洋大学

## 「別府野球場に行ってきました」

みなさん、ご無沙汰しています。私は今別府に住んでいますが、5月末に韓国から友達が別府へ遊びに来ました。その子は野球がとても好きで、一緒に日本の方と野球するのを楽しみにして来日しました。自分は野球をするより見るのが好きなのですが、友達がせっかく日本に来てくれたので、良い思い出を作ってほしくて別府野球場というところに連れて行ってあげました。そこには、社会人の野球チームがいて一緒にキャッチボールすることもできました。こちらの写真は私ではなく、社会人野球チームのリーダーさんの写真ですが、ボールを投げるフォームが素晴らしくて写真を撮らせて頂きました。学校では運動サークルには入っていないので、久しぶりに運動したらストレス解散することができました。



## 竜の子(OB・OG)近況報告



\*写真は九十九里浜にて撮影  
\*今回の写真はAIではなく、自撮です：文章もChatGPTではなく、自書です～

ギ トウキ  
**魏 登輝 (中国)**  
東京外国語大学卒業

### 「「隠れ浜(?)」の紹介」

みなさん、ご無沙汰しております。

最近、仕事の方は若干時間的な余裕ができたので、あることにハマり出しました。それは「魅力日本の再発見の旅」です。現在の一番推しは千葉県の九十九里浜というところですよ。推しポイントは以下です。

- ・自然体で綺麗な砂浜
- ・程よい賑わいで混雑せず
- ・釣りやサーフィンが楽しめる

ちなみに、あまりの魅力に感心し、近くで一軒家を構えて今後在宅勤務の拠点にする予定です。もし来られるようでしたら、ぜひ泊まりに来てくださいね～



宇都宮駅の餃子像前、懇親会が終わった後の同僚達、楽しかったです。

キ シュクヘイ  
**紀 淑平 (中国)**  
東京電機大学卒業

### 「会社現場実習中」

皆さん、お久しぶりです。私は興国インテックに勤めています。

今、現場実習中です。当社は日本国内に4つの工場があり、それぞれの工場を回って、いろいろなゴム製品についての知識を身につけようと頑張りました。毎回工場を見学した後、懇親会を開き、会社の皆さんと面白い話をし、盛り上がっています。これから、皆さんも自分の好きなことややりたいことが出来るようがんばってください。



職場デビュー

**王 佳寧 (中国)**  
北海道大学卒業

### 「社会人生活スタート！」

皆さん、お久しぶりです、お元気でしょうか？長年の財団のご支援のおかげで、今年3月、無事に博士課程を修了できました。色々本当にありがとうございました。今は北京の中国教育科学研究院という研究所で働いています。義務教育の均衡ある発展、都市と農村教育発展の一体化、学校設置基準の標準化などを中心に研究しています。これまで日本で積み重ねてきた知識と経験を生かしつつ、中国の教育改革に力を入れたいです。就活の関係で、3月に行われた財団の卒業式に参加できず、大変残念に思っていますが、また皆さんとの東京あるいは北京での再会をとっても楽しみにしております。



デンバーの学会会場で一枚、想像力溢れる街でした。

**崔 麗華 (中国)**  
京都大学卒業

### 「10月から東京生活はじめます！」

みなさんこんにちは、私は今年3月に卒業し、ちょうど3月に学会発表があったため残念ながら卒業式・贈呈式に参加できなかったです。遅くなりましたが、新入奨学生の方々、誠におめでとうございます。私は10月から東京で仕事を始める予定ですが、それまでは引き続き元所属研究室の教務補佐員として研究を続けています。最後になるかもしれない京都での生活、毎日を大事にしながら過ごしていきたいと思います。

(担当：東海大学 工学部電気電子工学科2年 庄 睿翔)

## SPECIAL REPORT

## ● 中国のアウトドアブーム ●

2022年、コロナもだいぶ落ち着いてきた頃、中国に新しいブームが到来しました。アウトドア関連のキーワードが私たちの生活の中でよく聞かれるようになり、サイクリングや登山、キャンプなどが2020年以來初めての国民的なブームになりそうです。大自然の中にいると、美しい空が心を和ませてくれます。中国にはそのような息をのむほど美しい地域がたくさんあります。九寨溝、黄龍などの世界遺産はもちろん綺麗ですが、チベットや新疆、雲南などの秘境のようなところも絶景であり、最近人気があります。その中から、今回は自分が行ったことのあるチベットについて書きたいと思います。その美しさとチベットの文化が読んでいる方々に少しでも伝えられれば嬉しいです。

中国の平原からチベットのラサに行く道は、出発点によって景色がそれぞれ異なります。青蔵鉄道（青海省西寧とラサを結ぶ鉄道）のような高原鉄道もあります。私は主に国道318について紹介します。国道318は中国の成都からラサまでの国道を指し、全長2000キロぐらいあります。車や自転車、徒歩で行けば、道中に絶景を楽しむことができます。

こちらの写真の怒江72拐は、318国道の中でもっとも有名な道路と言っても過言ではありません。怒江72拐はチベットの八宿県を通り、途中に怒江を経由し、つづら折りのカーブがなんと130以上



怒江72拐

もあります。また、海拔は4618メートルもあるので、まさに天路を走っているかのように感じられます。もちろん、318国道はただ絶景だけの道ではありません。天険と呼ばれることも318国道の特徴です。この天険は公的にどこかを指す名称ではなく、318国道全体を指すことが多いです。自然災害による山の崩壊や少し危険なつづら折りもあります。右の写真のようところが318国道においては数え切れないほどあります。また、急な大雪や深夜の低温、野生動物などが車、自転車、遠足者にとっては大きな危険だとも言えるでしょう。しかし、このような変



天険と呼ばれている険しい道

化が多い天気やたくさん野生動物も318国道の美しさの一環になっていると言えます。2023年現在、たくさん若者がラサに旅しているのは、その美しさが大きな理由でしょう。さらに、このような地域においては絶景意外にも、人を惹きつける文化があります。例えば、右の写真のような山の頂上の旗はチベットならではの文化であり、それは厄除けのお守りでもあります。また、チベット民族には、人生において必ず一回聖なる地に行くという考え方があります。そして、もっともその神聖さに対する敬意にふさわしい「五体投地」（両手、膝、額を地面に伏して祈りながら歩くという姿）で聖地へ向かいます。この巡礼の文化について日本でも、2017年に映画『ラサへの歩き方 祈りの2400km』で紹介されています。巡礼の目的地はラサが一番多いですが、神の山と呼ばれているカイラス山とアムネマチン山も選択肢の一つです。ただひたすら合掌して面を大地に投じて一歩一歩歩いていくというのは、現代の私たちにとってまさに非効率で非現実的です。しかし、効率化を追求する現代社会だからこそ、このような巡礼が私たちにとって魅力的で、宝物のように感じられるのです。

化が多い天気やたくさん野生動物も318国道の美しさの一環になっていると言えます。2023年現在、たくさん若者がラサに旅しているのは、その美しさが大きな理由でしょう。さらに、このような地域においては絶景意外にも、人を惹きつける文化があります。例えば、右の写真のような山の頂上の旗はチベットならではの文化であり、それは厄除けのお守りでもあります。また、チベット民族には、人生において必ず一回聖なる地に行くという考え方があります。そして、もっともその神聖さに対する敬意にふさわしい「五体投地」（両手、膝、額を地面に伏して祈りながら歩くという姿）で聖地へ向かいます。この巡礼の文化について日本でも、2017年に映画『ラサへの歩き方 祈りの2400km』で紹介されています。巡礼の目的地はラサが一番多いですが、神の山と呼ばれているカイラス山とアムネマチン山も選択肢の一つです。ただひたすら合掌して面を大地に投じて一歩一歩歩いていくというのは、現代の私たちにとってまさに非効率で非現実的です。しかし、効率化を追求する現代社会だからこそ、このような巡礼が私たちにとって魅力的で、宝物のように感じられるのです。



変わりやすい天気

中国でアウトドアとして楽しまれているところはチベット以外にもたくさんあります。壮麗な内モンゴルの大草原、新疆ウイグル自治区に広がる果てしない世界二番目に大きいタクラマカン砂漠、雲南に属する熱帯雨林に囲まれているシーサンパンナ・タイ族自治州などの地域もとても人気があります。これらの地域を訪れ大自然に触れる際には、正しい知識を身に付けてから楽しむべきであることも忘れてはいけません。



チベット頂上の旗

中国のアウトドアブーム、特にチベットについて書いてみました。読んでいる方々に少しでも興味を持ってもらえたら嬉しいです。ぜひ一度中国に行ってその絶景を体験してください。

中国のアウトドアブーム、特にチベットについて書いてみました。読んでいる方々に少しでも興味を持ってもらえたら嬉しいです。ぜひ一度中国に行ってその絶景を体験してください。

中国のアウトドアブーム、特にチベットについて書いてみました。読んでいる方々に少しでも興味を持ってもらえたら嬉しいです。ぜひ一度中国に行ってその絶景を体験してください。



#### 委員長 筑波大学 劉 楚帆

この度、「竜の子奨学生」会報誌第31号の編集委員長を務めさせていただきました。今回は、新入生紹介の部分を担当させていただきました。新入生の方々に書いていただいた「私の尊敬する人」を拝見し、皆さんがそれぞれ夢と目標をお持ちであることに心から感銘を受けながら読ませていただきました。会報誌の編集作業は初めての経験でしたが、スケジュール調整にご協力いただき、親切にご指導してくださった編集スタッフの皆様、そして編集委員会の皆様のおかげで、作業は順調に進みました。私にとって非常に貴重な経験となりました。竜の子財団の関係者の皆様に楽しみながら読んでいただけたら嬉しく思います。

#### 委員 東北大学 王 勇成

この度は、「竜の子奨学生」第31号会報誌の編集委員を担当させていただき、とても光栄に感じております。編集会議に参加して、いろいろなことを話し合い、貴重な経験が出来ました。編集委員の皆さんと一緒に頑張ったおかげで、とても面白い本会報誌が完成したと思っております。また、自分の担当がOBOG会の挨拶文だったので、実際の録音を聞き取り編集する過程で、日本語力が大幅に向上したように思います。今後も、皆さんとたくさん会えることを楽しみにしております。

#### 委員 東京大学 周 瑩樺

みなさん、こんにちは。第31号会報誌の理事長・卒業生・新入生挨拶の編集を担当させていただきました。他大学の人の交流機会はなかなかないので、編集会議後の交流会でみなさんと話すことが出来て嬉しかったです。私は就活を始めたばかりだったので、いろいろアドバイスをもらえて大変勉強になりました。夏のイベントでまた皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！

#### 委員 東京工業大学 金 栄牛

今回の会報誌で、交流会レポートの後半を担当させていただきました。編集会議で同期のみんなに会えて楽しかったです。オフライン会議の後には、財団事務室の近くのレストランで一緒に食事もしました。会報誌の編集ではOB・OG先輩の方々のお言葉を文書化する作業を担当し、作業している間に楽しかった交流会を思い出してまた財団の交流会に参加したい！という気持ちになりました。このような貴重な経験をさせていただき、財団の皆様に感謝申し上げます。

#### 委員 東海大学 庄 睿翔

今回は会誌編集委員として選ばれ、とても貴重な機会をいただけて嬉しく思っています。私は一部の原稿の回収、編集など簡単な作業だけでしたが、自分にとっては新しい経験でもあり、編集作業を行うことで、何回も「こういうこともやるんだ」と思いました。会議後、委員会の方々と喋ったりして仲良くなる機会もありました。また、美味しいご飯を食べながらみんなと交流することができ、最高の時だったと思います。皆さん、機会があればぜひ編集に参加してみてくださいね！

#### 委員 一橋大学 宋 兆

この度、財団会報誌「竜の子奨学生」第31号の編集委員を担当したことは、とても貴重な体験でした。私はスペシャルレポートの担当で、中国のアウトドアブームを紹介しました。皆さんに母国文化の素晴らしさを伝えることができとても面白かったです。編集会議では皆さんと実際に会って話し合ったりもしました。編集のことはもちろんですが、皆さんとお互いに友達のように話ができてとてもうれしかったです。最後に編集委員の皆さんと一緒に食事できたのは、竜の子財団ならではの経験だと思いました。本当に貴重な経験ですので、奨学生の皆さんもぜひ機会があればぜひご参加ください。また、このような思い出ができて、竜の子財団の関係者の皆様に感謝を申し上げます。



第一回編集会議



第二回編集会議後



第三回編集会議



### 「その夢はきっと世界を変えていく」

作詞：竜の子奨学生

作曲：班 文林（平成21年竜の子奨学生）

夢 希望をかなえる為 僕たちは生きている  
その夢はきっと世界を変えていく 平和のため  
いろんな事があるけれども どんなときでも

仲間とともに乗り越えて 竜の子の誇りを胸に  
夢 希望をかなえる為 みんなは生きている  
その夢はきっと世界を変えていく かならず